

# 編集後記

2022年2月24日早朝、ロシアがウクライナ侵攻を開始してから、この原稿を書いている時点ではほぼ3か月が経過しています。世の中が少し変わりました。世界は再度分断され、物価は上がり、軍備増強や憲法改正が取り沙汰されています。ニュース番組は長くなりましたが、新型コロナの扱いは小さくなりました。新規感染者数が減っていることもあるでしょう。が、それに代わって、原因不明の肝炎やらサル痘やらまで出現し、思考がついていきません。本号が出版される頃にはどうなっているのでしょうか。

同様に、もしくはそれ以上に先の見えない、ウクライナの惨状。毎日、目を覆うような悲惨な映像が送られてきます。海外では残酷な犠牲者の映像が流れているようですが、東日本大震災の時と同様、日本ではかなり控えめです。人的犠牲が最大の悲劇であることに議論の余地はありませんが、我々土木技術者にとって、めっちゃめっちゃに破壊された道路や鉄道、発電所、橋など、インフラの惨状もまた、見るに堪えるものではありません。大勢の市民が犠牲になっただけでなく、今を生き延び、これから復興を目指して日常生活を取り戻していかなければなら

ない人々の生活基盤が失われている様子が、手に取るようにわかります。理不尽なやり方で、文明的な生活を送る権利も奪われたのです。

まだ少し気が早いかもしれませんが、わが国、また我々インフラ整備を担う技術者は、平和が取り戻された後のウクライナにおける人々の生活水準をできるだけ早く元に戻し、復興を下支えする準備を、今から周到に行っておくべきだと思います。我々は第二次世界大戦後、戦争には直接巻き込まれていませんが、数々の壊滅的な自然災害から立ち直ってきました。その経験と技術力こそが、直接的な軍事協力や目に見えない経済支援ではなく、世界平和に貢献するために供与すべき、最先端の武器なのではないでしょうか。

本号で特集されている「地上からの調査・探査・診断技術」もしく、毎号本誌において紹介されるインフラの整備・維持管理に資する先端技術は世界に誇るべきものであり、世界中の人々の文化的・生活の維持に役立たせるべきだと、改めて感じる次第です。

〈本誌編集委員 津野和宏〉

## ○機関誌編集委員会

### □特別顧問

▶森田 弘昭  
(一社)日本非開削技術協会会長

### □委員長

▶尾崎 正明  
(株)G&U 技術研究センター代表取締役

### □委員

▶浅井 岳春  
オリジナル設計(株)水インフラ本部下水道部技術1課

▶小川 仁  
芦森工業(株)機能製品事業本部バルテム統括部バルテム営業部長

▶越智 茂  
管清工業(株)管理本部広報課長

▶小原 信次  
(公財)水道技術研究センター管路技術部長

▶河西 一嘉  
エクシオグループ(株)土木事業本部土木営業部門課長代理

▶黒田 博之  
大和技建(株)関東支店支店長

▶鈴木 敬一  
川崎地質(株)企画・技術本部課長

▶津野 和宏  
国士館大理工学部理工学科まちづくり学系教授

▶出口 大志  
NTTインフラネットワーク設備本部設備マネジメント部アーバンデザインセンター長

▶中川 喜夫  
中川ヒューマン管工業(株)取締役執行役員戦略推進室長

▶長島 隆幸  
(株)水コンサルタント取締役東日本事業本部副事業部長兼東京支社社長

▶西坂 浩章  
積水化学工業(株)環境・ライフラインカンパニー管路更生事業部課長

▶村上 貴之  
東京電力パワーグリッド(株)工務部流通土木グループ運営チームリーダー

▶森 治郎  
アイレック技建(株)非開削推進事業本部副部長

▶山長 聖和  
(株)奥村組営業本部営業戦略部管理課長

## ○編集スタッフ

事務局長：金子 謙二  
編集：赤坂 誠・大屋 健  
古川 みずき

環境にやさしい

# 非開削技術

季刊

No.120 2022 Jul. 令和4年7月1日発行

編集：「非開削技術」編集委員会

発行所：一般社団法人 日本非開削技術協会

〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-18

リードシー門前仲町ビル3階

TEL.03(5639)9970 FAX.03(5639)9975

E-mail: office@jstt.jp

https://www.jstt.jp/

発行人：森田弘昭

印刷所：株式会社LSプランニング



## ● ご案内 ●

### ◇本誌のご購読について

ご購読をご希望の方は、当協会webサイトから、またはJSTT事務局まで直接お申し込み下さい。

### ○購読料(税込み)

1冊 1,650円(本体1,500円)〒400円

1ヵ年(4冊)6,600円(本体6,000円)〒1,600円

### ◇発行

年4冊：4・7・10・1月の1日発行

### ◇広告のお申し込みについて

本誌に広告の掲載をご希望の方は、編集室までご連絡下さい。

### ◇技術記事

非開削に関連する技術、製品についての技術記事を募集しています。

投稿技術記事は委員会にて選考の上、掲載技術記事には本誌規定の原稿料をお支払いすると共に「非開削技術報告表彰」の候補としてノミネートされます。

### ◇情報のご提供について

非開削技術に関連する新技術、新製品、図書の紹介、関連団体の動向や講演会、セミナー・展示会の案内など、情報をお寄せ下さい。

©JSTT 2022 Printed in Japan / ISSN 2435-841X

本誌の複写・複製・転載は必ず許可を得てください。